



2021年10月27日

各位

会社名 栄研化学株式会社
 代表者名 代表執行役社長 納富 継宣
 (コード: 4549 東証第1部)
 問合せ先 専務執行役
 経営管理統括部長 渡 一
 (TEL. 03-5846-3379)

2022年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2021年4月28日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異(2021年4月1日～2021年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり親会社株主に帰属する四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 20,200	百万円 3,330	百万円 3,370	百万円 2,610	円 銭 70.66
実績値(B)	百万円 21,341	百万円 4,831	百万円 4,897	百万円 3,666	円 銭 99.23
増減額(B-A)	百万円 1,141	百万円 1,501	百万円 1,527	百万円 1,056	
増減率(%)	5.7	45.1	45.3	40.5	
(ご参考)前期第2四半期実績(2021年3月期第2四半期)	百万円 17,727	百万円 2,724	百万円 2,794	百万円 2,151	円 銭 58.31

2. 差異の理由

当社では、今期上期にはワクチン接種の効果等により、新型コロナウイルスの感染状況がある程度落ち着くことを想定し、2022年3月期業績予想を策定いたしました。しかし、7月以降の国内感染再拡大に伴い、新型コロナウイルス遺伝子検査試薬の需要が高まり、継続的安定的に対応した結果、第2四半期(累計)の売上高は前回発表予想を上回りました。

また、アフターコロナを想定した活動についても、コロナ禍での活動を継続せざるを得ず、販売費等の経費減少により、第2四半期(累計)の営業利益・経常利益・当期純利益も前回発表予想を大幅に上回る結果となりました。

なお、現時点において通期の業績予想に変更はありませんが、今後の経費の発生状況と業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上